Sichuan ShuangLiu Middle School

Jiangsu Ocean University

Faculty of Science

Information and Computing Science

さくら国際日本語学院

埼玉大学大学院　理工学研究科　数理電子情報専攻　博士前期課程

ソーシャルメディアバックエンド管理

設問1　日産自動車への志望動機

Q1.日産自動車への志望動機を記入ください。(400文字)\*

### Q2.あなたがリーダーシップを発揮した経験と、その成果を教えてください。(400文字)\*

### 設問3　志望職種（選考を希望する職種のみご記入下さい。（最大2つ））　 ※第一志望にて選考を進めさせて頂きますが、本人の適性を踏まえ第二志望の職種にて選考を進めさせて頂く可能性がございます。）

Q3.第一志望職種\*

    商品企画  マーケティング＆セールス／アフターセールス  グローバルアフターセールス  マーケットインテリジェンス  購買  生産管理・サプライチェーンマネジメント  情報システム  人事  経理財務  法務/知財

Q4.第一志望の職種を選んだ理由、入社後挑戦してみたいこと。(400文字)\*

Q5.第二志望職種\*

    商品企画  マーケティング＆セールス／アフターセールス  グローバルアフターセールス  マーケットインテリジェンス  購買  生産管理・サプライチェーンマネジメント  情報システム  人事  経理財務  法務/知財  第二志望職種の選考は希望しない

Q6.第二志望の職種を選んだ理由、入社後挑戦してみたいこと。（400文字）

### Q33.研究内容・テーマ\*

大学時代、学報部の部長として、部内のワークフローを改善し、効率的なチームワークと斬新なコンテンツ制作を実現しました。この経験から、異なる専攻や背景を持つメンバーそれぞれの能力を最大限に引き出すリーダーシップの重要性を学びました。

メンバーが多様な専攻や経歴を持つ中、彼らの「能力と志望」に基づく役割分担の仕組みを導入しました。効率的なコミュニケーションと作業分担を実現するために、会議ではグループシステムを採用し、各グループのリーダーをローテーション制で運用しました。これにより、全メンバーがチーム運営のスキルを学ぶ機会を持てるように工夫しました。

このリーダーシップ経験を通じて、多様なチーム内での効果的なコミュニケーション、問題解決能力、そしてメンバーの潜在能力を引き出す方法について深く学びました。これが今後のキャリアに大いに役立つと確信しています。

日産自動車への関心は、「他のやらぬことを、やる」という企業精神と技術革新に根ざしています。日産の革新的な技術、特に電気自動車の分野でのリーダーシップは、自動車業界における持続可能性の新時代を象徴しています。私は常に新しい技術とアイデアへの探求心を持ち、日産のような先進的な環境でそれを実現したいと考えています。

私の探求心は、ただ新しいものを追い求めるだけではありません。それは社会的な影響を考え、企業としての責任を重んじることから来ています。日産自動車が持続可能な開発に重点を置いていることに深く共感しており、自分のスキルと情熱を使って、社会と会社の発展に貢献したいと思います。

日産で働くことは、私にとって単なる仕事ではなく、社会に対してポジティブな影響を与え、持続可能な未来を築く機会です。日産の持つ独特なビジョンに貢献し、共に成長し、新たな価値と幸福を創造することを心から望んでいます。

私が情報システム部門を第一志望として選んだ理由は、「日産全体のデジタル化を促進する」という戦略に大きな魅力を感じたからです。デジタル技術が急速に発展する現代において、企業のデジタル変革は競争力を維持し、市場におけるリーダーシップを確立するために不可欠です。ISIT部門がこのような重要な役割を担っていること、そして私自身がその変革の一翼を担い、新しい技術を駆使して会社の進化に寄与できると考えると、非常に興奮しています。

入社後挑戦してみたいこととして、人工知能や機械学習などの最先端技術を活用して、日産の製品開発から顧客サービスに至るまでのプロセスの自動化と効率化に取り組むことに挑戦したいと考えています。これらの技術を活用することで、社内の情報共有をさらに円滑にできると信じています。そして、日産がデジタル化の波をリードすることに貢献し、自らも技術革新の最前線で成長していくことを強く望んでいます。

グローバルアフターセールス部門を志望する理由は、お客様の満足度を最大化し、安定した収益を確保するという部門の重要な使命に大きな魅力を感じるからです。グローバルアフターセールスは、多岐にわたる役割を持ち、異なるバックグラウンドを持つ人々と協働する機会が豊富です。このような環境で働くことで、さまざまな視点や価値観に触れ、自分自身の知識とスキルをさらに伸ばすことができると考えています。

入社後、私は特にグローバルマーケットにおける顧客ロイヤルティプログラムの構築と運営に挑戦したいと考えています。多文化の顧客基盤を理解し、各地域に最適化されたリワードプログラムや顧客エンゲージメント戦略を開発することにより、日産のブランド価値を高め、リピート購入を促進することが目標です。この分野でのイノベーションを推進し、日産のグローバルアフターセールス部門が業界のベンチマークとなるよう努力したいと思います。

研究テーマ

組込みソフトウェアの消費電力見積もりスキーマの提案

研究内容

この研究では、組込みソフトウェアの消費電力を見積もるための新しいスキーマを提案します。スキーマは、さまざまな組込みシステムに応用可能であり、消費電力の最適化による効率の向上と長期的なデバイス使用を実現することを目指しています。組込みシステムの電力効率を高めることは、リソースが限られている環境でのデバイスの性能と持続性にとって重要です。

スキーマの核心は、ハードウェアの特性とソフトウェアの動作を総合的に分析し、消費電力を正確に見積もることにあります。このアプローチは、特にバッテリー駆動のデバイスや発熱制限があるデバイスの設計において重要です。

提案されたスキーマは、V字モデルの初期段階「要件定義」に適用できます。この段階での正確な消費電力見積もりは、後続の設計と開発のプロセスにおいて、効率的で持続可能なシステム設計の基盤を築きます。